



高槻ロータリークラブ 2017~2018 WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなの為になるかどうか

事務所 オーロラモール高槻西武 6階 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
 E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 オーロラモール高槻西武 6階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 浜田厚男 **幹事** 橋本憲治 **クラブ運営委員長** 馬淵晴彦 **会報担当副委員長** 藤田貴子

No.27 2018年1月31日発行

1月は職業奉仕月間

第3105回 本日 (1/31) の例会

例会場変更……梅の花 高槻店

- ◎ソング……我等の生業
- ◎委員会例会

第3106回 次回 (2/7 例会)

例会場変更……桃谷楼

- ◎国 歌……君が代
- ◎ソング……奉仕の理想
- ◎誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎創業記念月御祝
- ◎卓話 坂野 信一君
「ワインのラベルの見方」
山室 匡史君
「
」
- ◎例会前の行事 2月度定例理事会

◎1/24 出席報告

会員数	出席者数	出席率
52 名	36 名	75.00 %
前々回例会補正後出席率	100 %	
但し、Mup 5 名	欠席者 0 名	
出席規定適用免除有資格者	7 名	

先週 (1/24) 例会より

◎デジタル・ゲスト 0 名

◎会長の時間

日曜日マラソンのボランティアご苦労さまでした。今年は温かく天候に恵まれ、また初のインターアクトの生徒さん達と、一緒にでき大変良かったと思います。

我が高槻ロータリークラブは、インターアクト未来塾 等々、活動も増えてきております、その中でもイチ押し活動が、「いのちキラキラ食裁活動」であります。

この度その活動のPR動画が完成したので宜しくお願いたします。この動画を使って来月のIMのプロモーションを行ないます。

< 動画視聴とナレーション音声確認 >



1/24 卓上花

カラー
清純
レースフラワー
可憐な心

◎次年度地区出向役員 委嘱状交付を行いました。

◎幹事報告

- ・千里 RC より移動例会の連絡が届いております。
(吹田江坂 RC との合同例会のため) ビジター受付はいたしませんので、メーキャップの際は事務局へ確認ください。
- ・地区よりローターアクト第 2 回地区献血のご案内が届いております。65 歳以上の採血できないロータリアンの方も献血者のご紹介やよびかけ、応援等、御協力よろしくお願ひいたします。

【日 時】 2018 年2 月25 日 (日) ※雨天決行

【集 合】 9:50 開会10:00 閉会16:00 (予定)

【場 所】 ①難波バス停横 ②イオン大日前
③京橋駅前 ④樟葉駅前 ⑤梅田 HEP 前

◎委員会報告

◎クラブ運営委員会

光本 智輝

次週 31 日例会は移動例会で 12:30~梅の花 高槻店にて行います。送迎バスが 12:00 に西武前から出発しますので乗り遅れないようお集まりください。よろしくお願ひいたします。

◎ゴルフ同好会

西澤 直紀

高槻 3 RC ゴルフコンペを開催いたします。今回は当クラブがホストクラブですので、奮って皆様のご参加をよろしくお願ひいたします。

【日 時】 2018 年 4 月 15 日 (日)

集合 10:00 キャディマスター室前
スタート: O U T ・ I N 10 時 28 分

【場 所】 ベニーカントリー倶楽部

【参加費】 ¥10,000-

◎内本会員よりご案内

本日皆様のポケットに 2 枚チラシを入れております。

- ・高槻市日中友好協会 創立 35 周年記念として「日中友好コンサート 日本古典の響・中国の調べ」を開催いたします。

人間国宝 奥村旭翠氏と中国人歌手 李広宏氏によるジョイントコンサートです。チケットのご希望の方がおられましたら、お申し出くださいませ。

【日 時】 2018 年 2 月 11 日 (日祝)

13:30 開場 14:00 開演

【場 所】 高槻現代劇場 中ホール

【チケット】 前売り、当日券

- ・「高碓達之助に学ぶ会」発足記念講演会を開催いたします。ご都合がよろしければ是非お越しください。

【日 時】 2018 年 2 月 24 日 (土) (高碓翁命日)

13:30 開場 14:00 開演

【場 所】 高槻市総合センター 2 階

生涯学習センター 多目的ホール

【基調講演】 牧村 健一郎氏

「企業家であり偉大な政治家 高碓達之助!!」

※入場料 無料



◎卓話

「バブルの発生と崩壊」

清水 利男

今、新聞、テレビ、でバブル期以来とか、バブル期を越えるとかいう事が言われだしました。バブルの発生と崩壊がどのように起こり、終わったか!

当時を経験した方が高齢になり、また一線を引退されており、今は当時の若い方が社長とか会社幹部として活躍されていますが、当時の出来事を理解されていますと、これからの人生に役立つと思ひ、テーマにしました。

バブルの発生と崩壊

A 日本の金融自由化の流れ

(1) 護送船団方式

戦後の日本の金融行政は、すべて大蔵省の許認可が必要であった。その理由は、都銀は年中資金不足であったので、安定的に資金を大企業に供給するために、中小金融機関にも預金を集めさせ、それを産業資金に廻してもらう必要があった。

そのために中小を保護しながら・・・

(2) 金融自由化の流れ

1980 年ごろは、アメリカはものすごいインフレになっており、一方で、日本との貿易不均衡があり、規制緩和を強く要求してきた。

(3) 金融自由化の内容

①銀行・証券・保険の 3 業態の規制緩和

②金利の自由化、証券手数料の自由化

③店舗出店の自由化

④取扱業務の自由化

⑤商品開発の自由化

⑥外国資本の参入の自由化

⑦預金保護が無くなり、1,000 万円まで元本保証

1985 年から始まって、1995 年頃に完了した。

B バブルの発生

(1) プラザ合意 (1985 年 9 月)

1980 年代の初め、不景気の中で世界貿易は縮小していた。しかし当時の日本は、アメリカを中心とした輸出が増え、大幅な貿易黒字だった。特にアメリカに対して、自動車等が大量に輸出され、日本経済はどんどん発展した。一人勝ちの状態でした。

一方アメリカは、貿易赤字と巨額の軍事費で財政赤字となった。これを是正しようとしたのがプラザ合意です。

基本的には、日本とアメリカの貿易問題ですが、世界に与える影響が大きいのでイギリス、西ドイツ、フランスを入れた先進五か国で一緒に為替介入をすることを決めました。

(2) 為替介入

要するに、日本の製品がアメリカに大量に入ってこないようにするためにどうしたらよいか。

「円」の価値を上げる、円高ドル安になれば、日本からの輸入製品をアメリカで売るときは値段が高くなり売れにくい、ドル安なのでアメリカ製品は海外に安く輸出できます。

(3) その結果

プラザ合意以前 1 ドル 240 円 2 年後 1 ドル 120 円

(4) 円高不況

このために、日本製品の輸出価格が上昇し輸出は伸びず、輸出産業は打撃を受け、日本経済は不景気となった。

(5) 不況対策

日本は公定歩合を下げた。

1985年 5% 1987年 2.5%

公定歩合とは、日銀が都銀にお金を貸すときの利息を2.5%下げると、企業向けの金利も下げます。すると企業は喜んでお金を借ります。ただし預金金利も下がります。

(6) 土地神話と財テク

日本の国土は狭い。土地は限られている。経済が上向けば土地の値段は必ず上がる。企業は借りたお金で土地を買うこと、株式に投資し本業以外で資産を増やそうとした。これが財テク。

本来企業は、利益が出るとその利益を内部留保するものだし、また借り入れは、工場を建てたり、新規事業に投資するものですが、その当時は有名経済評論家が「財テクをやらない経営者は経営者失格」などと言っていました。

(7) すさまじい金融機関の融資

特に銀行は、金融自由化で生き残りをかけて規模の拡大に力を入れました。融資姿勢は、それはそれは凄まじいものでした。普通、融資は時価の8掛けまたは7掛けの融資をしますが、当時は土地は上がることは解っているから、120%の融資を平気で行っていました。もはや事業内容とか規模とか関係なしでした。例えば・・・

(8) NTT民営化

1987年に民営化されたNTTが1株119万円で売出。その2か月後に318万円になり株ブームが起きた。1985年10,000円のダウが1989年12月に38,957円となった。NTT株の売出しが株ブームに火をつけた。

(9) 円高効果

一方で円高は、原油安など輸入価格低下のメリットがあった。鉄鋼や造船などの輸出は減少したが、自動車やハイテク産業は商品質を高め、合理化と機械化でコストを下げ輸出を増やした。

(10) みんなで渡れば怖くない

1987年以降、公共投資、消費拡大を中心に、内需主導型の大型公共に向かい、超低金利政策の下、国民皆が土地や株も「今後も上がり続け買おうと儲かる」という間違っただけの考えが広まり、企業も個人も競うように土地、株、ゴルフ会員権、美術品などを買い漁り、異常な値上がりをした。ダウ50,000円説が出始めました。

(11) 不幸中の幸いの資産インフレ

通常インフレは、パンを買うのにカバンいっぱいのお金を持って行かないと買えないのが、円高のお蔭で消費物価が上がらず、土地や株、ゴルフ会員権などの資産だけがインフレになったことは、不幸中の幸いでした。

C バブルの崩壊

(1) 大蔵省の行政指導

1990年3月、大蔵省は「土地関連融資の抑制」についての行政指導を出しました。この内容は、「不動産向け融資の伸び率を総貸出の伸び率以下に抑える」。目的は、行き過ぎた不動産価格の高騰を沈静化させる政策であったが、その値下がりスピードは予想以上で、いったん下がりだすと土地、株を売る人だらけでした。

(2) 日銀の金融政策

一方日銀も、地価の高騰を抑えようと、1989年公定歩合を3.75%から4.25%、さらに5.25%、

最終6%まで上げて、高い金利なら銀行から金を借りて土地を買う人が減るだろうと考えたが、借金をして買った土地を持っている企業や投資家は、金利の支払いが大変なので損しても売ろうとしたが、誰も買い手がなく、地価の下落のスピードを速めた。

(3) 不良債権問題

土地投機を行っていた不動産会社、建設会社、ゴルフ場、ノンバンクは次々返済不能になり、また株式運用に失敗して経営が立ち行かなくなった上場企業も続出した。

それ以上に問題となったのが、土地を担保に融資をした銀行とノンバンクに不良債権が多額発生した。

1991年から95年くらいまで危機的状態になるとは認識されていなかったが、地価は下落し続けた。金融機関は信用不安を恐れて不良債権を小さく発表していた。

(4) 金融機関の破綻と合併、吸収

ついに金融機能不全が起こってきた。金融自由化により政府が保護するという政策は変わっており、破綻も止む無しのことで、97年北海道拓殖銀行、日本長期信用銀行、日本不動産BK、山一証券が破綻した。それ以外にも、地銀、相互銀行にも破綻したBKは多数あった。また13行あった都市銀行は、今は3行になっている。(りそな銀行は地銀です。)

倒産、破綻は赤字でなく、資金繰りで行き詰まることです。信用不安になると預金が集まらない、貸した金が戻らない預金は払い出さないといけない。

(5) 相互銀行の悲劇(第二地銀)

当時相互銀行は、相互銀行法により融資先は中小企業に限定され、また大口貸出の最高限度額が規制されていたが、自由化により普通銀行になると規制がなくなり、一般都銀と同じ行動をとったのが命取りとなった。

D 世界経済はなぜバブル発生と崩壊を繰り返すのか？！

(1) バブルの後始末が次のバブルを呼ぶ

世界経済では、古くは1600年代にオランダでのチューリップバブルから、最近ではITバブル、サブプライム住宅ローンバブルなど、数多くのバブルが発生しては崩壊してきました。

何故でしょうか？

近年のバブルを検証すると、「何らかの理由で市場に大量の資金が供給され、行き場をなくした資金が一部の資産へ投資を集中させている、いわゆる「過剰流動性バブル」の発生が多い」、金融緩和と政策の結果バブルが発生する。

今の日本の現状は、金融緩和され企業も自己資本を多く持ち、その資金の行き場が現在は株に廻っているようです。また日銀の株式買入はとどまるところを知らず、インフレ目標2%に向かって突き進んでいるところですが、このスピードは一度つくると止まらなくなるのではないかと心配しています。

株式についてはバブルになっているように思われます。一説によると40,000円という人もいます。但し、日銀が購入した株を売るに回ると暴落する危険もあります。

◎1/21 高槻シティハーフマラソン大会が開催され、ポイントスタッフにご協力いただきました。また、高槻 IAC の生徒もスタッフとして参加しました。



◎ニコニコ箱報告

- ・マルチプル・ポールハリス・フェロー表彰ありがとうございます。 西本君
- ・卓話を聞いていただいて！ 清水君

本日の合計 ￥ 10,000-
7/1 よりの累計 ￥1,384,000-

◎R 財団への寄付

- 浜田 厚男君 ￥5,000- 西本恵美子君 ￥5,000-
- 大木 城司君 ￥5,000-

(高槻シティハーフマラソンボランティアにご参加頂いた方々お疲れ様でした)

本日の合計 ￥ 15,000-
7/1 よりの累計 ￥ 665,000-
一人当たり平均 \$ 114.38

◎米山奨学会への寄付

- 浜田 厚男君 ￥5,000- 大木 城司君 ￥5,000-

本日の合計 ￥ 10,000-
7/1 よりの累計 ￥532,500-
〔 会員より ￥275,000- 〕
〔 クラブより ￥257,500- 〕
一人当たり平均 ￥10,441